学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	倫理（通信）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 新倫理 新訂版（清水書院）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

複雑化する現代社会において、自己とは何か、よく生きるとはどういうことかを倫理で考えてほしい。そして、倫理を学習することで、人権、民主主義、平和、個人の尊重をもとにして、他者とともに生きる主体としての自己の確立に取り組んでほしい。そのためには、先人の思想や考え方を学習し、過去から現在までの思想を知り、自分の思考で、真の知識として、自分自身に取り込んでほしい。真の知識は自分の生き方に役立つものであり、自己の確立に向けてより良く生きるための指針となるであろう。

２　学習の到達目標

・人間尊重の精神と生命に関する知識を身につける。
・個人の尊重をもとに、他者とともに生きる主体としての自己の確立を目指す。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の思想と生命に対する畏敬の念について、青年期における自己形成の関心を高め、青年期の諸問題を探求する態度と自覚を深める。	青年期における自己の諸問題を多面的に考察し、探求するとともに、良識ある公民としての判断と考え方を公正に表現している。	青年期における自己形成や人間としての在り方を、思想の情報を適切に選択し、自己の確立に資するよう利用している。	青年期における自己形成や人間としての在り方を、自己の生き方につなげて、人格形成に役立てる知識として身につけている。
評価方法	課題レポート 発表活動 定期考査	課題レポート 発表活動 定期考査	課題レポート 発表活動 定期考査	課題レポート 発表活動 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	人間としての自覚と宗教	・ギリシャの思想	・ギリシャの思想、 ・上記に関する思想、芸術、作品の学習	○ ○	○	 ○	 ○	a:人生における哲学、芸術のもつ意義に関心がある。 b:先哲の思想を手がかりに、人間としての在り方をについて考え、適切に判断し、それを自分のことばとして表現している。 c: 人生における哲学、芸術に関して、古典、書籍、メディアから情報を収集している。 d: 人生における哲学が人間の存在にかかわる基礎的な課題であることを理解している。	・課題レポート ・発表活動 ・定期考査
		・世界の４大宗教	・キリスト教、イスラム教、仏教、ユダヤ教に関する基礎的な知識 ・上記に関する思想、芸術、作品の学習	○	○	○ ○	○ ○	a:人生における宗教、芸術のもつ意義に関心がある。 b:宗教の思想を手がかりに、人間としての在り方をについて考え、適切に判断し、それを自分のことばとして表現している。 c: 人生における宗教、芸術に関して、文化財や宗教施設、メディアから情報を収集している。 d: 人生における宗教が人間の存在にかかわる基礎的な課題であることを理解し、基礎的な知識を身につけている。	・課題レポート ・発表活動 ・定期考査

後期	国際社会で生きる自覚	・日本の風土と伝統	・日本の風土と伝統（万葉集、古事記、日本書紀に関する基礎的な知識）	○	○	○	○	a:日本人に見られるものの見方、考え方を理解し、日本の伝統、風土に対する関心が高まり、意欲的に探求している。 b:日本人に見られるものの見方、考え方において、課題を見つけ、多面的に考察し、適切に表現していいる。 c:日本人に見られるものの見方、考え方において、諸資料を収集し、理解を深め、国際社会での望ましい生き方を探求している。 d:日本人に見られるものの見方、考え方を、自己とのかかわりの中で、理解し、人格の形成に役立てる知識として身につけている。	・課題レポート ・発表活動 ・定期考査
		・外来思想の受容	・外来思想、自然観、宗教観（儒教、西洋の近代思想）	○	○	○	○	a:日本人に見られるものの見方、考え方と外来思想を比較しながら、外来思想を日本が受容してきた経過に関し、関心が高まり、意欲的に探求している。 b:日本人に見られるものの見方、考え方において、外来思想と対比させ、日本の思想の課題を見つけ、多面的に考察し、適切に表現している。 c:外来思想が日本人にどのような影響を与えたかについて、諸資料を収集し、理解を深め、国際社会での望ましい生き方を探求している。 d:日本人に見られるものの見方、考え方を、外来思想と比較させ、自己とのかかわりの中で、理解し、人格の形成に役立てる知識として身につけている。	・課題レポート ・発表活動 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識･理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。